

一般財団法人リモート・センシング技術センター

リモートセンシングデータ解析技術者養成講座

実施者	一般財団法人リモート・センシング技術センター			
講座名称	リモートセンシングデータ解析技術者養成講座			
認定番号	43001-1001	認定期間	2018/10	～ 2024/9
実施方法	平日昼間、eラーニング	入学定員	16 名	
訓練期間	6 日間	訓練時間	30 時間	
開講月	5月、9月、12月			
受講経費	入学科 0円	受講料 178,200円	合計 178,200円	
教育訓練給付指定	有り／指定番号 48201-182001-1	指定期間	2021/10	～ 2024/9

対象分野	データサイエンス
講座の教育内容	衛星リモートセンシングによる観測の仕組み、画像やデータの解釈方法を理解し、ビックデータ分析をビジネスで活用するために必要な知識を身につける。
目標とするレベル	■ 当該教育訓練が対象とする技術や手法等を活用して、業務上の課題の発見と解決をリードするとともに、後進育成にも貢献できるレベル ■ 当該教育訓練が対象とする技術や手法等を活用して、新規ビジネスやサービス等の創出が可能であるほか、後進育成にも貢献できるレベル
具体的な到達目標	・リモートセンシングの基本原理に関する知識を身につける。 ・衛星データの基本的な解析方法や画像の適切な解釈方法を身につける。 ・業務で衛星データを利用するための知識や技術を身につける。 ・研修で身につけたスキル等を所属部署へ持ち帰り、その知見を関係者と共有する。
習得できるスキル	・リモートセンシングの基本原理を説明することができるスキル。 ・画像化された衛星データを適切に解釈できるスキル。 ・GISソフトやGoogle Earth Engineを用いて衛星データの解析や分析を行うためのスキル。 ・リモートセンシング解析技術を用いて業務上の課題を発見し、それを解決するためのスキル。
講座の理解・習得のために推奨される実務経験	環境問題、持続的開発、気候変動などに関する業務や研究を行った経験。
講座の理解・習得のために推奨される知識・技術	・Windowsの基本的な操作。 ・高校数学、理科履修者または同等の学力を有する。
技術・知識の到達度の把握・測定方法	・総合演習時に衛星データの解析結果や課題解決の結果を提出させ、技術の到達度を測る。 ・終了時に選択式の理解度テストを実施し、知識の到達度を測る。
修了認定の判断基準	①出席率80%以上。 ②総合演習における解析結果の提出（適切に解析されたかを講師が判断）。 ③終了時の理解度テストの正答率80%以上。
修了認定基準に満たない受講者への措置	解析結果が十分でない場合、講師のアドバイスの下、再解析・再提出を実施させる。また、理解度テストの正答率が80%未満の場合、時間を延長し、再テストを実施する。
社会人が受講しやすい工夫	・都合が悪くなり受講できなくなった方には、別日程で開催される講座への振替を案内している。 ・講座受講の前後の予習と復習に活用できるよう、受講者にはe-Learning動画を無料で提供している。
受講者に対するサポート体制	・講義実施 1 日ごとに質問対応の時間を設け、疑問がある場合には理解できるまで指導している。 ・講義が終了した後でもメールで質問に回答している。 ・演習での課題が時間内に終わらなかった場合、後日メールでの課題提出を受け付けている。 ・e-Learning動画を無料で提供しており、予習と復習に役立ててもらっている。
教育訓練施設所在地	東京都港区虎ノ門3-17-1
ホームページ	https://rs-training.jp/certification/